

2024年3月のレコードコンサート

☆…今月のテーマ『Over the Rainbow』 ♣…ジャズ・ビギナーにおすすめ

日	曜日	管理番号	ジャケット名	アーティスト	ひとこと	
1	金	03634	ソルスティス・サウンド・アンド・シャドウ	ラルフ・タウンナー	《記念日》1940年3月1日生	
☆	2	土	サラ・ヴォーン・ライヴ・イン・ジャパン		東京、中野サンブラザで行った絶頂期のライヴ盤。	
☆	3	日	パークス・ワークス	ディジー・ガレスピー	リー・モーガンら、名手たちを揃えたビッグ・バンドによる名盤。	
	4	月	101601 (CD)	スカパラ登場	東京スカパラダイスオーケストラ	日本が世界に誇るスカバンドの90年代の幕開けを飾ったデビュー・アルバム。色褪せない名盤。
☆	5	火	10386	クラシックス・イン・ジャズ	チャーリー・パーネット	パーネット率いるオーケストラ。シャープなスイングと洗練されたドライブに満ちたビッグバンドの傑作。
	6	水	—			休館日
	7	木	07125	オオ・ミステイク!	吉田 日出子	1984年公演の舞台『オオ・ミステイク!』のサウンド・トラック。戦後の名曲が詰め込まれた作品。
	8	金	04420	ジャズ・ラーガ	ガポール・ザボ	《記念日》1936年3月8日生
♣	9	土	03095	ソング・フォー・マイ・ファーザー	ホレス・シルヴァー	父親、そして家族へ捧げた、代表作にして大人気盤。
			—			19:00~ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 「ホーンとヴァイブのクールな響き」アーチャー・シップ『オン・ジス・ナイト』
☆	10	日	10380	モダン・サウンズ	ショーティ・ロジャース ジェリー・マリガン	ウェスト・コースト・ジャズを代表する2人。アート・ペッパーとチェット・ベイカーのソロも聴きどころ。
☆	11	月	03384	ナウ・イン・ヴォーグ	テディ・キング	さりげなく優しい歌声、上品でノスタルジックな佇まいのテディの人気アルバム。
	12	火	—			※展示入れ替え作業のため終日休館
	13	水	—			休館日
	14	木	09998	ソウル・シスター	シャーリー・スコット	《記念日》1934年3月14日生
	15	金	04916	ラフ・ン・タンブル	スタンリー・タレントイン	レイ・チャールズやバート・バカラック、ニーナ・シモンのソウルフルなカヴァーが聴きどころの名盤。
☆	16	土	10820	グレン・ミラー・バイ・リクエスト	グレン・ミラー	人気の高い作品を集めたアルバム。すべてが名曲。
☆	17	日	04695	ザ・チャント	サム・ジョーンズ	チェリストとしても名を轟かせた天才的アーティスト。タイトル曲「ザ・チャント」をはじめ、ブルージ的なナンバーを収録した傑作。
	18	月	01688	エレクトラム	石川晶とカウント・バッファローズ	歴史的名盤。当時、ジャズ・ロックの可能性を追求し、“その先のジャズ”に挑んだ意欲作。
☆	19	火	04352	ザ・グレート	ロレッツ・アレクサンドリア	渋みのあるバスキーな歌声が魅力。「マイ・ワン・アンド・オンリー・ラヴ」と「虹の彼方に」は、揺るぎない名唱。
	20	水	07684	スプリング	アンソニー・ウィリアムス	《記念日》春分の日
	21	木	08221	ブラジル・ウィズ・マイ・ソウル	タニア・マリア	ブラジル音楽、ジャズ・フュージョン、クラシックを融合した音作りで不動の人気を誇るピアニスト/シンガー。70年代後半の名盤。
	22	金	04600	エル・ソニード・ヌエボ	カル・ジェイター エディ・バルミエリ	サルサをはじめラテン・ジャズの醍醐味が満載、歴史的作品。
♣	23	土	04080	アット・カーネギー・ホール	デイヴ・ブルーバック	NYカーネギーホールにおける歴史的コンサートのライヴ盤。名曲「テイク・ファイヴ」収録。
			—			19:00~ブルー・ウェーブ・ジャズ・フォーラム・レコードコンサート 「鮮やかなピアノによる熱気あるライヴ演奏」セロニアス・モンク『ミステリオーソ』
	24	日	キング・プレジャー・シングス		《記念日》1922年3月24日生	
☆	25	月	08886	シャドウ・オブ・ユア・スマイル	根本 慶子	ピアノのタッチも美しく、どの曲も軽やかにスウィング。パップ・チューンからスタンダードまで演奏を楽しめる一枚。
	26	火	08618	ロック・ザ・ワールド	サード・ワールド	ソウルフルレゲエ80年代の名盤。踊るにも、しっとり聴くにも、BGMにも、いずれの用途にもびったり一枚。
	27	水	—			休館日
☆	28	木	09807	ライヴ・アット・木馬 vol.1	クラーク・テリー	1976年ジャズ・クラブ「木馬」での実況録音盤。
☆	29	金	07940	イン・アワ・オウン・スイート・ウェイ	サル・サルヴァドール	オーソドックスなスタイルの中で時代や音楽の流行に左右されないプレイの名手ぶりが味わえるスウィング一枚。
☆	30	土	01889	ファンキー・ジャム・セッション	小野 満	1960年のリサイタルを祝った貴重なオールスター・ジャム・セッションの模様を収録。
☆	31	日	01445	“ユー・アー・マイ・サンシャイン”	ジョージ大塚トリオ	市川秀男の紡ぎ出す流麗なフレーズ、宮本直介の起伏の激しいベースライン、二人をまとめる大塚のドラミングが一体となった好盤。

◆ 内田修ジャズコレクション展示室ラウンジで開催します。

◆ コンサートの内容は、変更になる場合がございます。何とぞご了承ください。